※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	文学国語（東京書籍）						
副教材等	書きたくなるアシスト常用漢字（数研出版）、現代文ウィニングクリア１(尚文出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では様々な角度から物事を捉えることが出来るように、多くの文章に触れ、理解を深めていきます。
・意見の交換や文章記述など、活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させ、読書習慣を身に付けるとともに、作品の内容や解釈を踏まえて考えたことや感じたことを伝えるための「書く能力」もしっかりと身に付けてください。
・毎授業、漢字の学習も行い、基礎的な力も身につけましょう。
・授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・文章を読み、的確に内容や構成、登場人物の心情を理解することができるとともに、目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を人間関係において活用し、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・授業に積極的に参加し、伝統的な言語文化に対する理解を深め、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書き手のものの見方や感じ方を読み取る ［教材］ 「光の窓」	a:・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:言葉と感覚との関係について、筆者の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	書き手の考えを表現に即して読み取る ［教材］ 「言葉を生きる」	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:筆者の考えをその表現から読み取り、学習課題に沿って「生きること」と「言葉」の関係について理解を深めようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	論の展開を踏まえて書き手の主張を捉える ［教材］ 「詩と感情生活」	a:言葉に、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:詩についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って詩の特質について考えを深めようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	登場人物の生き方や考え方を捉える ［教材］ 「沖縄の手記から」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し、学習課題に沿って、人間の生と死について考え、まとめようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	作品の紹介と内容の評価を区別し書評を書く ［教材］ 「書評を書く」	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について理解を深め、使っている。 b[書]:文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。 c:積極的に書評についての理解を深め、これまで学習した作品の内容、解釈を踏まえて書評を書こうとしている。	・記述確認	・記述確認 ・行動観察	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
2学期	登場人物の心情を表現に即して把握する ［教材］ 「山月記」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、文学的な文章を読むことを通じ我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	文体の特徴を捉えて小説の人称を書き換える ［教材］ 「小説の人称を書き換える」	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について理解を深め、使っている。 b[書]:文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c:小説の文体の特徴を捉え、表現を工夫しながら人称を書き換え、今までの学習を生かして小説における人称の選択と表現効果について考え、理解を深めようとしている。	・記述確認	・記述確認	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	具体例を理解し書き手の考えとの関わりを読み取る	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「モードの変遷」	b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:本文中の短歌の表現の特質を理解し、「時代性」が各短歌にどのように反映されているか自分の考えをまとめようとしている。			
	引用の役割を押さえて書き手の主張を理解する ［教材］ 「文学の未来」	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:文学作品とテクスト、読者の関係について書き手の考えを読み取り、学習課題に沿って文学作品を読む意義についてまとめようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
３学期	寓意に注意しながら小説を読む ［教材］ 「鞄」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:寓意が表しているものを読み取り、学習課題に沿って書き手の意図について考え、まとめようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	場面転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る ［教材］ 「あの朝」	a:・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:登場人物の状況から心情の変化を読み取り、学習課題に沿って自分の場合と比較して考え、 発表しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	表現したいことを明確にして小説を書く ［教材］ 「小説を創作する」	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について理解を深め、使っている。 b「書」:文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c:表現したいことを明確にして、今までの学習を生かして工夫しながら小説を書き、推敲したり他者の批評から手直ししたりして、小説を創作しようとしている。	・記述確認	・記述確認 ・行動観察	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　　…　（　　１５　　）時間

・読むこと　　…　（　　５５　　）時間